

令和2年度事業実績一覧

区分・事業名	事業概要	財源	事業費
<b>I 畜産物の価格安定対策の推進(公1) 3区分 7事業</b>			<b>3,376,075,536円</b>
<b>1 肉用子牛の価格差補てんに関する事業</b>			<b>64,414,342円</b>
(1)肉用子牛生産者補給金制度	肉用牛繁殖農家の経営安定を図るため、子牛価格が再生産可能な基準を下回ったとき、生産者に生産者補給金を交付する交付財源として、(独)農畜産業振興機構、県からの補助金及び生産者の拠出金により基金を造成した。なお、本県における対象品種については、平均売買価格が保証基準価格を下回らなかったため、補給金の交付はなかった。	農畜産業振興機構 佐賀県 生産者拠出金	46,735,222円
(2)肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業	(独)農畜産業振興機構から補助を受け、制度の対象となる子牛の登録・確認、事務委託団体の指導、検討会開催、子牛の取引状況調査などを行い、肉用子牛生産者補給金制度の適正な運営を図った。なお、1頭当たり410円の事務手数料を徴収した。	農畜産業振興機構 手数料	15,324,160円
(3)優良肉用子牛生産推進緊急対策事業	(独)農畜産業振興機構から補助を受け、肉用子牛の飼養頭数を維持するため、畜舎の環境改善や疾病の防止等を通して経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し、奨励金を交付する本事業について、周知等を行った。なお、本県における対象品種については、全国平均価格が発動基準を下回らなかったため、奨励金の交付はなかった。	農畜産業振興機構	2,354,960円
<b>2 肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業</b>			<b>3,311,264,235円</b>
(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度	肥育農家の標準的販売価格が標準的生産費を下回ったとき、(独)農畜産業振興機構からの交付金と県からの補助金及び生産者の拠出金により造成する基金から、その差額の9割の補てん金を生産者に交付し、肉用牛肥育農家の経営安定を図った。	農畜産業振興機構 生産者拠出金 佐賀県	3,046,578,750円
(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務委託事業	(独)農畜産業振興機構から委託を受け、対象となる肥育牛の登録・販売確認、事務委託団体の指導、推進会議の開催などを行い、肉用牛肥育経営安定交付金制度の適正な運営を図った。 なお、1頭当たり500円の事務手数料を徴収した。	農畜産業振興機構 手数料	21,919,485円
(3) 佐賀牛等肥育素牛導入緊急対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大により牛枝肉価格が急激に下落し、肉用牛肥育農家の経営が大変厳しい状況にある中、「佐賀牛」をはじめとする県産牛の生産を維持するため、肥育素牛の導入に係る奨励金を交付することで、肉用牛肥育農家の営農意欲の維持や経営の安定化を図った。	佐賀県	242,766,000円
<b>3 養豚経営の所得補てんに関する事業</b>			<b>388,816円</b>
(1)肉豚経営安定交付金制度に係る連絡調整等委託業務	(独)農畜産業振興機構から委託を受け、養豚農家や関係者を対象に肉豚経営安定交付金制度の普及推進を行い、養豚農家の経営安定を図った。	農畜産業振興機構	388,816円

令和2年度事業実績一覧

区分・事業名	事業概要	財源	事業費
<b>II 畜産経営体の育成、経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進（公2）4区分 16事業</b>			<b>383,502,498円</b>
<b>1 畜産の経営指導に関する事業</b>			<b>15,455,482円</b>
(1)畜産経営技術高度化推進事業	畜産農家に対して、畜産の各分野の専門家からなる支援チームを構成し、畜産農家に対して経営診断・事後指導による助言指導、経営改善研修会の開催、技術情報提供及び相談活動などを行い、生産性、収益性の高い畜産経営体の育成を図った。	佐賀県	3,750,000円
(2)畜産特別資金等推進指導事業	畜産特別資金借受者及びその融資機関に対して、経営改善計画の作成指導や達成指導を行い、同資金借受者の経営改善を図った。	中央畜産会	5,726,381円
(3)畜産経営指導体制支援事業	畜産振興を目的として、畜産協会が実施する畜産経営技術高度化推進事業を推進するとともに関係機関・団体と連携し、地域畜産の活性化、収益性の高い畜産経営実現並びに安全かつ安定的な食の供給のための事業の推進を図った。	地方競馬全国協会	5,979,101円
<b>2 畜産の経営支援に関する事業</b>			<b>362,032,187円</b>
(1)肉用牛経営安定対策補完事業 (地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業)	生産者集団等に対して、能力の高い繁殖雌牛の増頭・導入等に対し奨励金を交付し、地域の繁殖基盤の強化と活性化を図った。	農畜産業振興機構	21,923,828円
(2)生産基盤拡大加速化事業(肉用牛)	輸出拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づいた優良な繁殖雌牛の増頭に対し奨励金を交付するために、推進業務を実施した。	全国肉用牛振興基金協会	1,637,000円
(3)畜産経営災害総合対策緊急支援事業	豪雨、台風、地震等災害により畜舎等が被災した畜産農家の安定的な経営継続を目的に、畜舎、飼養管理の附帯施設・機械の補修・改修や非常用電源等の事業概要等の周知を図った。【事業要望なし】	農畜産業振興機構	0円
(4)畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、事業の推進業務、事業参加要望書及び事業参加申請書の取りまとめ業務などの推進業務を実施した。	中央畜産会	2,155,000円
(5)畜産経営体生産性向上対策事業	酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・生産性向上のために、協議会等が取り組む搾乳ロボット・AI・IoT等の先端技術の機械導入事業(リース)の県窓口団体として、事業の円滑な推進を図った。	中央畜産会	394,000円
(6)酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	酪農家の労働負担軽減のために、楽酪応援会議等が取り組む機械導入事業(リース)並びに一体的な施設の整備事業の県窓口団体として、事業の円滑な推進を図った。	中央畜産会	451,000円
(7)肥育牛経営等緊急支援特別対策事業(肥育生産支援事業)	新型コロナウイルス感染症により、肉用牛肥育経営体の経営悪化が危惧されているため、優良な肥育牛生産など経営体質の強化へ取り組む肥育経営体に対し、奨励金を交付した。	中央畜産会	335,471,359円

令和2年度事業実績一覧

区分・事業名	事業概要	財源	事業費
<b>3 畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業</b>			4,169,834円
(1)畜産クラスター全国推進事業に係る実態調査事業	中央畜産会が取りまとめる畜産経営の実態調査のために、経営内容や生産技術が優秀な畜産農家を対象とした経営状況調査を実施した。	中央畜産会	1,040,000円
(2)家畜生産性向上対策事業	家畜の生産性向上を図るために肉用牛農家の生産性に係るデータの収集・分析を行うとともに、それに基づく技術指導を実施した。	中央畜産会	1,773,324円
(3)地域畜産関係情報提供事業	本県の畜産物の生産状況、協会の事業概況やイベント等を協会のホームページや関係機関の情報誌等に情報提供を行い、本県畜産の理解を醸成するとともに県産畜産物の消費拡大を図った。	地方競馬全国協会	1,065,510円
(4)貸付事業指導等事業	(公財)畜産近代化リース協会から県内畜産農家に貸付けられた施設・機械の確認及び管理状況調査を実施し、貸付施設等の効率的な活用を助言するとともに、新規貸付者の掘り起こしを行い、生産者の経営改善を図った。	畜産近代化リース協会	291,000円
(5)課題解決サポート事業	日本政策金融公庫資金借入農家の経営改善を目的として、借入農家の経営内容を調査し、経営計画達成に向けて支援した。【調査依頼なし】	中央畜産会	0円
<b>4 生産者並びに団体への活動支援に関する事業</b>			944,995円
(1)畜産女性経営者育成強化事業	畜産経営の中核的役割への女性参画の拡大と女性の地位向上を図るため、女性自身の経営能力の向上とともに女性経営者の育成及び女性の能力発揮に向けた関係者の意識改革とサポート体制の強化等を図った。	中央畜産会	944,995円

令和2年度事業実績一覧

区分・事業名	事業概要	財源	事業費
<b>Ⅲ 家畜衛生の推進（公3）4区分 11事業</b>			<b>78,747,197円</b>
<b>1 家畜伝染性疾患の予防接種及び予防措置に関する事業</b>			<b>58,029,850円</b>
(1)家畜生産農場衛生対策事業	畜産経営への影響が大きい家畜伝染病である牛のヨーネ病、牛ウイルス性下痢(以下「BVD-MD」)、牛伝染性リンパ腫(以下「EBL」)の清浄化対策を支援するとともに、吸血昆虫により媒介されるアカバネ病等の予防接種支援を行い畜産経営の安定を図った。	農林水産省 生産者負担金	16,405,185円
(2)予防接種事業	生産者の負担金を財源とし、家畜への予防接種を行い、畜産経営への影響が大きい家畜伝染性疾患の発生予防を図った。 事業は県内各地域の家畜自衛防疫団体と連携して実施し、予防接種は、協会と契約した指定獣医師の協力を得て実施した。	生産者負担金	24,483,245円
(3)牛疾病検査円滑化推進対策事業	死亡牛のBSE検査の円滑な推進と死亡牛の適正処理を行うため、畜産農家が負担する経費の一部を国からの補助を受け、BSEの発生予防と清浄化確認を図った。	農林水産省	2,809,000円
(4)馬防疫強化地域推進対策事業	競走馬以外(乗用馬等)の馬インフルエンザの発生予防を目的に、馬インフルエンザワクチン接種を推進した。	中央畜産会	533,000円
(5)予防注射事故対策事業	畜産協会が実施した予防注射において、予防注射事故が発生した場合に見舞金を交付した。	佐賀県畜産協会	138,000円
(6)家畜衛生防疫対策事業	畜産協会が実施する家畜衛生関連対策の推進を行い、畜産振興を図った。	地方競馬全国協会	1,788,133円
(7)消費・安全対策交付金事業	養豚農場のバイオセキュリティを向上させるため、防鳥ネット、動力噴霧器、簡易更衣室、死体保冷保管庫、燻蒸庫、パスボックス、飲水消毒装置、看板等の導入に必要な経費を支援した。	農林水産省 佐賀県 市町 生産者	11,873,287円
<b>2 畜産物の安全や畜産経営の衛生指導及び調査に関する事業</b>			<b>4,648,398円</b>
(1)家畜防疫・衛生指導対策事業	家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実にかつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動を推進すること、並びに家畜畜産物の安全性を確保するうえで重要な農場HACCP認証に必要な取組を推進した。	中央畜産会	3,978,398円
(2)馬飼養衛生管理特別対策事業	馬飼養実態調査や馬飼養衛生管理技術講習会等を行い、馬飼養衛生管理の向上を図った。	中央畜産会	670,000円
<b>3 家畜伝染病まん延防止及び経営支援に関する事業</b>			<b>1,088,529円</b>
(1)家畜防疫互助基金支援事業	家畜生産者積立金による基金を(公社)中央畜産会に造成し、家畜伝染病発生時に、家畜伝染病まん延防止のために家畜のとう汰を行った生産者に対して、基金と(独)農畜産業振興基金補助金とを合わせて交付し、家畜防疫の徹底と農家の経営再建を図った。	農畜産業振興機構 生産者積立金	1,088,529円

令和2年度事業実績一覧

区分・事業名	事業概要	財源	事業費
4 獣医師等の育成支援に関する事業			4,582,000円
(1) 獣医師養成確保修学資金貸与事業	佐賀県内の産業動物獣医師等への就業を志す獣医学を専攻する学生に対し修学資金の貸与を行い、産業動物獣医師等の育成・確保を図った。	農林水産省 佐賀県	4,582,000円
公益目的事業 計 11区分 34事業			3,838,325,231円

令和2年度事業実績一覧

区分・事業名	事業概要	財源	事業費
<b>IV その他の事業(相互扶助等事業)1(他1)</b>			<b>1,637,256円</b>
1 馬事畜産振興推進事業	馬事畜産振興協議会からの委託等により、関係団体等と連携し、地方競馬(さがけいば)の支援、畜産や畜産物の普及・啓発を行った。	馬事畜産振興協議会 関係団体の負担金	352,000円
2 地方競馬支援対策事業	公営競馬の健全な運営並びに発展のため、佐賀競馬場の新規ファンの獲得を目的に、ホームページや情報誌等に競馬情報の発信を行った。さらに、WEB上で開催した畜産フェアにおいて、県産畜産物の畜産物のPRを行い、畜産物の消費拡大を図った。	地方競馬全国協会	703,375円
3 県産畜産物ブランド確立対策事業	畜産団体等が開催する共励会等を支援し、家畜の改良や畜産経営技術の改善の促進に努めた。さらに、本県の家畜の改良の度合いや方向性を確認するとともに一般消費者に対し本県畜産物の消費拡大や畜産への理解の醸成に資した。	地方競馬全国協会	581,881円
<b>V その他の事業(相互扶助等事業)2(他2)</b>			<b>450,000円</b>
1 任意組織事務受託事業	畜産振興を目的として、畜産関連事業を実施する団体を支援した。		450,000円
<b>VI 法人業務</b>			<b>9,529,116円</b>
1 法人管理に関する事業			1,600,000円
(1)畜産関係団体調整機能強化事業	生産者等からの経営、技術、制度、資金等の各種相談に対応した。	中央畜産会	1,600,000円
合計 39事業( 公益 11区分 34事業、 その他 4事業、 法人 1事業)			<b>3,849,941,603円</b>